

【うっとうしい】・・・鈴木

先月まで自粛などで大変な毎日の中、やっと再開の話題が出てきた矢先に、また最近感染者が増えて来ております。

新型コロナウイルス、そして梅雨真只中の時期、まさしく鬱陶しい時期になっております。

最近、自粛生活の中で土日は殆んど外出しない中での出来事です。先日、また妻にゴミの出し方で「きちんと縛って出してよ」「プラと紙と混ぜないで」などと言われてしまいました。一般的に世の奥様、そして女性に対する偏見と言われても仕方ありませんが、鬱陶しい（うっとうしい）について書きたいと思います。

鬱陶しいとは本来、どういう意味かという、「気分が晴れやかでなく、わずらわしさを感じている状態」を意味する言葉です。今まさに、梅雨・コロナの時期そのものなのです。たまに段ボール紙の縛り方、燃えるゴミの中にプラが混じっている等、同じことを言われます…。これが、鬱陶しいのです。面倒くさそうにいつもと同じ返事(ちゃんと分別してるよ、とか)を返せば、鬱陶しい、しつこい、などと逆に返されるのです。

あと、人によって態度をコロッと変える人がいます。偏見ですが女性に多いと思います。あの人も極端に変わります。電話で話す声と、家庭での話す声のトーンが別人でビックリしてしまうことがあります。娘達が変わりように、いつも大笑いしています。そういう方は、そのギャップに周囲も最初は驚くでしょうが、徐々に慣れてくるにつれ、あの人はうっとうしい人というレッテルを貼られてしまうかもしれません。

他人から見ればそんな些細なことだと思うでしょうが、家庭の中での会話はやたらと気になってしまい、もっと広く心を持って対応したいのですが、それを言ったところであまり変わらない会話に鬱陶しいと感じてしまうのです。

結局、それを解決するには、ひたすら話を聞いて解決できるように努力する姿勢を見せ続ける。「はいそうです」「わかりました」「その通りです」と、返答し収束を待つしかないのかなと思うのです。今、鬱陶しい時期(新型コロナや、梅雨、そして…)真只中、一日も早く収束して欲しいと願うばかりです。



【歳を重ねて】・・・小倉

先月末日に、私ども所長が80歳(傘寿)を迎えました。

「論語」で言いますと、15歳・・・学問(志学)

30歳・・・自立できる(而立)40歳・・・心に

惑いなくなる(不惑)50歳・・・天の使命を

自得(知命)60歳・・・動揺、立腹なし(耳順)70歳・・・道德規範外(従心)そして80歳・・・

当時としては、「八十にして成る晩成ではない」と言い、80歳までにはみつきたいでありましたが、これからは、「我八十にして・・・」の・・・の言葉を探すことになりそうです。

なかなか日々の生活に追われ、目先のことでいっぱいになりがちですが、いつまでも目標をもつ事は大切ですね。歳を重ねた分、成長したいものです。

最近、思うことは「和顔愛語」を心がけ、人を悪く言うのはもってのほか、穏やかな表情と思いやりは忘れずに接していきたいと思っています。

人を悪く言うほど、自己嫌悪に陥るようになりますし、人を非難や悪い事を声に出すことは「自分自身を非難している」と同じこととして脳は捉えるような気がします。

今、50年に一度の災害、またコロナ感染者数が増えたりする中、こんな不測な時代が生じてても、健康を心がけて気持ちだけは、しっかり持ちたいと思います。

行動しないと始まらないので、健康維持として水分の摂取量、食べ物の質を考え、そして毎年増え続ける体重の増加、その為に運動を心がけていきたいです。



あしががフラワーパーク 2



事務所の無花果(イチジク)



夏季休暇のお知らせ

当事務所は8月13日～16日の間、休業させていただきます。

ホームページのご案内

当事務所のホームページです。

ぜひアクセスして下さいね。

ホームページはどこの検索サイトでも、

“**所長一筆**”と入力すれば、簡単に見ることが出来ます。

(HP) <http://ishikawatax.com/>

(MAIL) higenoishikawa@yahoo.co.jp